

瀬戸内タウンミーティング（玉津地区）

平成 21 年 10 月 28 日（水）19 時～21 時

玉津コミュニティセンター 大講座室

参加者：男性 15 人、女性 6 人、計 21 人

市民から出た意見と市長の反応

- ・ 30 年後というが、10 年後には尻海には人がいなくなるのではないかと不安である。農協がなくなったら買い物に行けるところがなくなる。地域の活性化、働く場の確保のために通り山に大学、学校の誘致ができないだろうか。
- ・ 若い人が帰ってくるためにも会社の誘致をしてほしい。
- ・ 馬券場の話はどうなったのか。

（市長）馬券場はどうなっているのか報告が無い。進めていた会社のオーナーが代わったという話を聞いたことがある。塩業がなくなって、働き場が無いというのは大きい。企業誘致はどこの会場でも言われるが、どこの市町村もやっている。景気が悪いこともあり、厳しい状況である。また、造成などが終わっていてすぐに立地が可能なところの方が来てもらいやすい。

- ・ 塩田跡地で太陽光発電を行い、ポンプを回す電力を少しはまかなえないだろうか。
 - 大雨で基礎が浸かる可能性がある。また地盤沈下の恐れもある。発電パネル付近の除草に薬を使うと排水で牡蠣の養殖が被害を受ける。
 - ※現在市と県で水質検査を行っており、いずれの検査でも水質は基準値内となっている。
- ・ できれば自然のままにしていきたい。牡蠣の成育は排水に影響を受けやすいので、開発も気をつけてやってほしい。
- ・ 国の出先機関の誘致はできないか。堤防もまとめて管理してもらいたい。
 - 自衛隊の基地を誘致できないか。例：呉にある防衛施設局。
 - 防災基地、災害対応のための食料等の備蓄基地にして、四国・九州をカバーできるようヘリポートを備えれば利用価値は高い。
 - 米軍に沖縄から移転してもらえば、沖縄の人に喜んでもらえるのでは。
 - 堤防の構造上、地震災害が起きたら錦海の土地は浸水する可能性がある。
- （市長）他の地区では「刑務所の誘致」という意見もあったが、どうか。
- ・ 反対はしない。

- ・ 塩田跡地に海水を引き込んで養殖漁業を行うことはできないか。以前錦海養殖がやっていた。

（市長）錦海がやっていたが、なぜやめたのだろうか。

→売れなかったから。えびの養殖をしていたと聞いている。

(市長) 産業廃棄物処理場や市の最終処分場の保護や、安田堤防の改修などが必要になり、莫大な費用がかかると思う。

・タンクを設置する形式なら堤防は今のままでもよいと思う。

・災害に対する備えが必要。子どもに帰ってきてもらうなら災害のないまちを目指してほしい。

例：大雨に対しての千町川の河川改修、敷井の高潮対策など

(市長) 敷井は樋門をつくってやっているところ。高助～大土井はなかなか進んでいない。

⇒「災害のないまち」

・アンケートの問2、順位付けについて耐震化ができていないからという観点から考えるのか。

(市長) 耐震化ができていないのもあるが、建替に関しては単に古いということがある。学校についてはアンケートに盛り込んでいないが、これは必ずやらなくてはならないので除外している。合併特例債を賢く使うための順位付けを行うための意見を聞くものと考えてほしい。

・アンケートに病院の建替という項目があるが、どのような病院にするか、ビジョンは持っているのか。

(市長) 古い建物だと医者が来たがらないことや、耐震化ができていないという理由から、10年後には今のままの病院では存続できないと考えている。どのような病院がいるのか、については別にアンケートをやろうと考えている。今日のアンケートでは市立の病院がいるか、いないかを聞くものと考えてほしい。

・大きな手術は岡山の大病院で、入院は市民病院で、といった病院間の連携がとれていればいい。

・いい医者がくるなら近いので市民病院に行く。

・以前、医師に厳しい言葉を言われたため、市民病院に行くのをやめた。

・院長はいい先生だという人もいる。

・看護師に意地が悪い人がいるということも聞いたことがある。

(市長) 他からはいい先生に来ていただいているという意見もいただいている。

例えば、市民病院が民間にとって代わってもいいか。儲からない診療科や救急医療がなくなるかもしれない。

・ちゃんとした診療をしてくれればよい。

・高度医療が受けられればよい。

- ・産科がほしい。
- ・この地区に診療所がほしい。
- ・救急医療がなくなる点については、特に意見なし

- ・前教育長の話では、玉津小は尾張に行くことが決まっているようだったが、どうするのか。
- ・「金が無い」というのが最初に出てくるので尾張に行くのも仕方ないかと思っている。ここまで人口が減っている状況では何もいえない。
- ・小学校の2階、3階部分を老人ホームにして、1階部分を学校として残してはどうか。
- ・地域の同級生がいない。中学校から帰ってくるときに変質者などに遭わないか不安。
- ・玉津の児童数は県下でワースト 5 に入るほど少ない。子どもは「友達が多いほうがいい」と思っているが、親の世代には「学校は残してほしい」という意見もある。集団生活から得る学びの大きさや、子どもの気持ちを考えると統合もやむなしかと思う。今の玉津小は校舎が新しいことと、地域のフォローが大きいところが強みだと思っている。

(市長) また話し合う場を持ちたい。

- ・尾張に行くことになったとして、通学には何か補助を考えてもらえるのか。

(市長) バス代の補助くらいかと考えている。

- ・西大寺まで直通で行けるバスがほしい。現在は尾張で乗換えが必要。
- ・大きなバスでなくていい。
- ・市が運行する福祉バスや、タクシーチケットについて考えてほしい。

(市長) 今は両備バスに補助金を出して運行していただいている。小さいバスを持っていないこと、小さいバスを新たに買うより今の大きなバスを走らせる方が、コストが安いことから、今の体制になっている。福祉バスについては長船でやっていたが、人が乗らないためやめたと聞いている。

- ・県道は自転車や歩く人にとって危険だと思う。自転車専用・歩行者専用道路がほしい。歩きやすい道路があれば声かけや見守りがしやすくなり、地域の防犯にもつながると思う。
- ・県道の街灯がよく切れている。通学している子どもにとって大切なものなので、役所に通勤している人でも気づいたら直すよう言ってほしい。
- ・詩吟の発表会に使える、100 人くらい収容の小さいホールが欲しい。